



### 3.商業系施設（事務所・ホテル・工場・倉庫等）

商業系施設を構成する重要な要素を 3 つに分類し、ゆとりと潤いある都市景観の観点から配慮すべき事柄の実現に向けて、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

商業系施設は、街並みの賑わいを形成する上で重要な建物であります。訪れる人や道行く人が、楽しく感じる雰囲気大切にするとともに、賑わいを感じるデザインに心がけることが重要です。

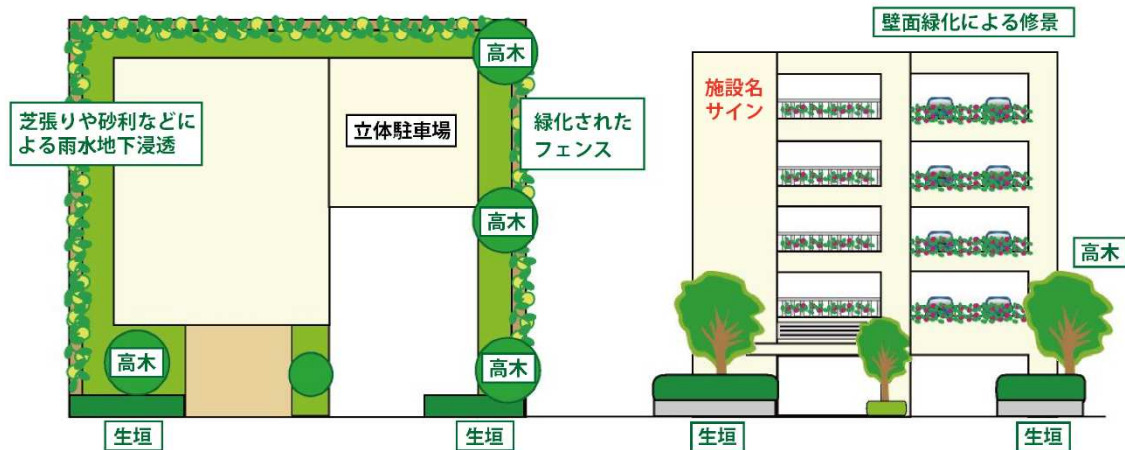
#### 【商業系施設で重要視する要素】

位置等：壁面後退、玄関アプローチ、駐車場

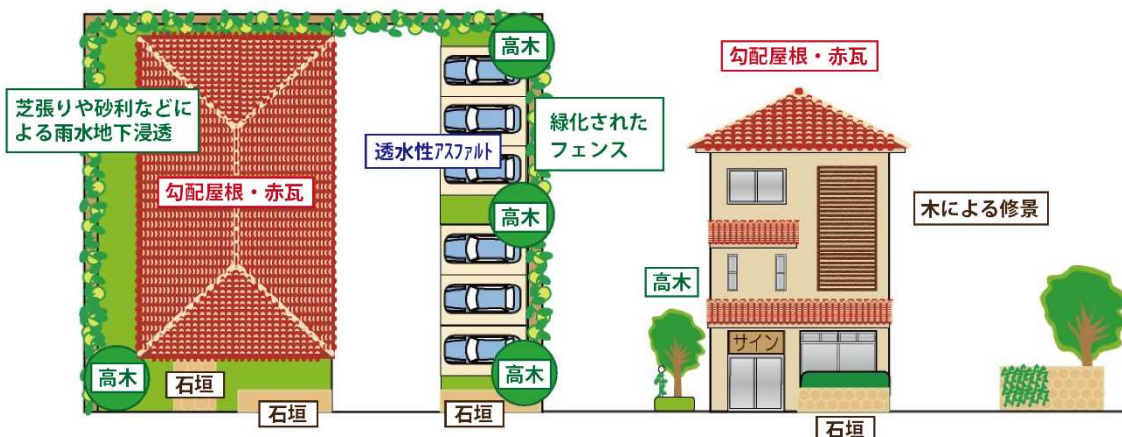
形態意匠：色彩、壁面、屋外設備、広告

緑化等：屋上・壁面緑化

#### 商業系施設修景事例



#### 歴史的地区での商業系施設修景





## 位置等

### 3-1 壁面後退 (景観ガイドラインP44)

#### デザインの Point

- ◆ 壁面を後退させ、緑化を創出させることで、より潤いある道路空間が演出できます。
- ◆ イベントが行われる広場のような公開空地を設けることで、地域のにぎわい空間が演出でき、各種イベント等に活用することができます。
- ◆ 公開空地内に植栽等を計画することで、豊かな空間を演出することができ、ゆとりのある歩行空間や休憩場所が生まれます。

#### 壁面後退



壁面を後退させ植栽を計画することで、潤いのある道路空間を演出



隅切りによる安全な歩行空間の確保

#### 公開空地



公開空地内ではイベント等も行おうことができるような計画とし、街並みのにぎわいを創出



公開空地内に植栽を計画し、豊かなアプローチ空間を形成





### 3-2 玄関アプローチ (景観ガイドラインP61)

#### デザインの Point

- ◆ 店舗や事務所ビルの玄関アプローチ空間は、道行く多数の人を建物内に誘い、交流の場となります。
- ◆ 建築物のセットバック部分や玄関アプローチに魅力的な緑化やサイン、ベンチ等を活用することで、店舗の魅力が高まります。

#### 植栽を活用した玄関アプローチ空間



ベンチと緑、オーニングによる豊かなアプローチ空間を創出



植栽と踏み石による豊かなアプローチ空間を創出

#### ゆとりのある玄関アプローチ空間



プランターユニットによる壁面緑化と広告を融合させ、緑豊かな玄関アプローチへと改修

【設計:株式会社エイムクリエイツ ファサード環境デザイン: 古谷デザイン建築設計事務所】





建築コラム

歴史性への配慮

もしもデザイン

歴史性を感じる地域に

配慮しなかったら・・・

都市景観形成地域などに建物を建てる際には、赤瓦や自然素材の石等を用いることで伝統的な街並みに調和することができます。しかし、ブロック塀などを使用すると伝統的な街並みを感じられなくなります。



加工写真

沖縄らしい自然素材を活用  
することで歴史性を感じる！



玄関ポーチに赤瓦や植栽、石などの素材をふんだんに用いることで、豊かなアプローチ空間をつくりだし、伝統的な街並みに調和します。



### 3-3 駐車場 (景観ガイドラインP65)

#### デザインのPoint

- ◆ 屋外の駐車場は、道路側に高木の植栽により、潤いのある景観を創出する計画をしましょう。
- ◆ 自走式立体駐車場は、ルーバー等の設置や樹木、生け垣、壁面緑化等による修景や建物に付随する場合は、その建物とうまく調和するような計画としましょう。
- ◆ 商業系施設の駐車場は多くの車両が駐車するため、駐車場の出入り口を集約化し、歩車分離を徹底することで街並みの連続性や安全性に繋がります。
- ◆ 大きなボリュームとなる場合には、圧迫感を軽減するため、色彩計画や壁面のデザイン工夫なども入念に行うことが重要です。
- ◆ 駐車場の地面に芝生などを活用することで、雨水を地下浸透させ、環境配慮にもつながります。

#### 平面駐車場



駐車場の出入り口を集約化し、そのまわりに緑化を行うことで、良好な歩行空間を創出



道路側に生垣や高木植栽を行うことで、潤いのある駐車場空間を創出

#### タワー型駐車場



施設と駐車場が一体的に計画し、施設のバランスを整えている



色彩を工夫することで周囲への圧迫感を軽減

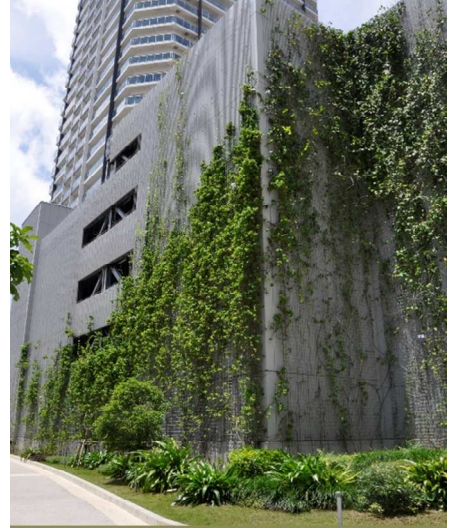




### 道路沿いに配慮した駐車場の緑化



ワイヤーを用い地面から緑化することで、外観だけでなく植物の生育にも配慮



ワイヤーメッシュを使用した壁面緑化



壁面側にプランタースペースを設けることで、駐車場壁面に表情の変化を与える

那覇市の景観ビジョン

デザインマニュアル  
の体系について

序  
章

戸建て住宅

共同住宅  
種別デザインマニュアル

商業系施設

資料  
編



## 形態意匠

### 3-4 色彩 (景観ガイドラインP48~54)

#### デザインの Point

- ◆ 建築物及び工作物の外観における基調となる色彩については、亜熱帯独特の自然の豊かな彩りが感じるコーラルホワイト※を中心とした色彩や低彩度の色彩を使用することで、統一感のある都市景観が生まれます。
- ◆ 建築物の中高層部に基調色を使用することで、街並みに連続性や統一感が生まれます。
- ◆ 建物の低層部に補助色や強調色を活用することで、建築物の表情をつくりだすことができます。
- ◆ アクセントカラーを小部分に効果的に用いることで、全体の配色を引き締める役割となります。また、素地色を生かした色彩とすることも効果的です。

※ 「コーラルホワイト」とは、那覇市のタウンカラースタンダードのために、琉球石灰岩のソフトな白をイメージしてつくった言葉です。



#### 中高層部 (およそ3階以上の上階)

都市の大景観を構成する要素となる。  
エリア区分にかかわらず、基調色によって統一感を作る部分。

#### 低層部 (1~2階部分)

基調色と共に、補助色や強調色を活用する部位。  
エリアの性格に応じて使う色の範囲が変わる。

### 低層部に補助色・強調色を使用した例



低層部に補助色、中高層部に基調色に塗り分けることで建築物の表情をつくりだす



店舗部分となる低層部にアクセントカラーを用い、上階の共同住宅部分には基調色を用い、都市景観に配慮





## 素材色を効果的に活かした事例



琉球石灰岩と樹木を活用し、良好な景観を形成



打ち放しコンクリートの素地色を生かし、杉板型枠を用いることで、外観に豊かな表情を演出



木の素地色を生かした外壁面とすることで、通りに潤いを創出し

### 建築コラム

### 賑わいを呼ぶ通りのデザイン



通りに賑わいを演出するために歩行者の視界に入る1階部分に窓ガラスを活用し、連続性のある共通のデザインとすることで建物の内と外の透明性が上がり、賑わいを感じる仕掛けづくりができます。







### 3-5 壁面

#### デザインの Point

- ◆ 壁面は、街並みのスケール感に応じたきめ細やかな表情づくりを行うことで、建物の圧迫感を和らげたり空間にリズムをつけたりすることができます。
- ◆ 壁面の形態や素材は、それぞれの建物の存在や個性を表出し都市景観への影響も少なくありません。街並みの連なりや調和に配慮するとともに、低層部においては賑わいを生み出す工夫をしましょう。

#### 壁面の形態



格子により大きな壁面を分割することで、圧迫感を軽減



1階部分を共通のデザインとすることで、連続性のある商業空間を演出

#### 素材の使い方



窓ガラスを活用し、大きな壁面の圧迫感を軽減



ガラスやコンクリート、石材など素材の組み合わせ



花ブロックを活用し、大きな壁面の圧迫感を軽減



赤瓦と同系色のスクリーンブロックにより、周囲との調和に配慮





## 街並みに配慮した壁面のボリューム



スカイラインをそらえた壁面の計画



道路に面する壁面の高さを抑え圧迫感を軽減



隣り合わせの建物の壁面の位置に配慮

## 工場・倉庫等の事例



縦ルーバーを用いて壁面に凹凸を作ることで、圧迫感を軽減



壁面にスリットを入れることで大きな壁面を分割し、圧迫感を軽減





### 3-6 屋外設備 (景観ガイドラインP58)

#### デザインの Point

- ◆ 室外機や受水槽、屋上の設備機器については、できるだけ露出を避け、ルーバーなどを活用し、建物と一体的にデザインしましょう。

#### 室外機への配慮



ルーバーで室外機を隠した事例



屋上の室外機は、目隠しルーバーを用いて遠景にも配慮

#### 設備機器への配慮



建物の意匠を崩さずに設備機器を隠した事例



建物とルーバーを一体的な計画とし、意匠を崩さずに設備機器を隠した事例

#### 建築コラム

#### 屋外設備機器の工夫

屋外に設備機器を設ける場合は、設備機器が周囲の景観や雰囲気壊すことがないように配慮することが大切です。右の写真のように木材などを用いて設備機器を隠し、周辺の植栽帯と一体的に修景することで、良好な景観を保つことができます。





### 3-7 広告 (景観ガイドラインP71~73)

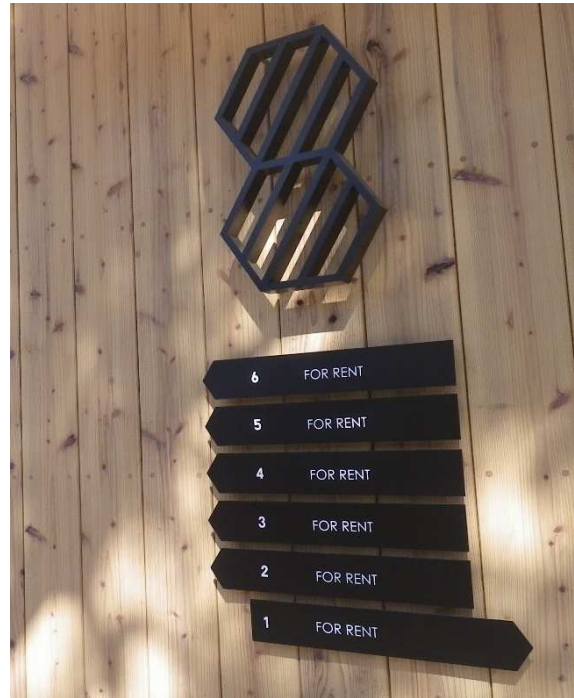
#### デザインの Point

- ◆ 広告物は、建築物や周囲の環境と調和させるよう心がけましょう。
- ◆ 広告物の大きさや、色には十分注意しましょう。
- ◆ すっきりと見やすい広告物とするため、建築物の計画段階から広告(サイン)の配置計画をしましょう。

#### 建築物と一体となった広告物



袖壁の一部をサインとした事例



木目調の外壁に合わせた分かりやすいサイン計画



設計時にサイン計画を行った事例



壁面緑化を行った外壁に合わせたサインの事例





## 緑化等

### 3-8 屋上・壁面緑化 (景観ガイドラインP56・60)

#### デザインの Point

- ◆ 良好な景観を創出するため、屋上や壁面を緑化することで、生活空間に潤いをもたらすことができます。
- ◆ 屋上・壁面緑化を施すことで、遠望からの景観に配慮することができます。
- ◆ 屋上や壁面は周辺からよく見えることから、手入れも重要な要素となりますので、適切な維持管理を心がけましょう。

#### 壁面緑化



屋上・壁面に緑化を行うことで、広場に潤いのある景観を創出



建物全体的に緑化を行うことで、潤いのある景観を創出



プランターユニットによる壁面緑化を行うことで、緑豊かな空間を創出





屋上緑化



遠望からの景観に配慮



芝を用いて屋上緑化を行うことで、心地良いテラスを計画

道路沿いへの緑化



鋼製手すりの部分から覗く植栽が通りの潤いを創出



道路沿いに植栽帯を設け、良好な沿道空間を創出

建築コラム スリット植栽帯による修景

植物はわずかなスペースでも、光、水、養分の条件が整えば、健全に生育します。その性質を利用し、スリット植栽帯を設け植栽修景を図ることは有効です。用いる植栽の種類例としては、ニチニチソウ、キキョウラン、タマシダ、ヒガンバナ、テンニンギク、ツワブキ、モクビャッコウ、ヤブラン、リュウキュウコスミシなどがあげられます。

